

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 197 号	氏名	古賀 聖士
学位審査委員	主査 大園 恵幸 副査 高橋 晴雄 副査 篠原 一之		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、閉塞型睡眠時無呼吸症候群(OSAS)の左心機能に及ぼす影響と経鼻的持続陽圧呼吸療法の効果について明らかにしようとしたもので、目的は十分妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 OSASにおける左心機能への影響を、左室収縮能と拡張能を組み合わせた総合的心機能指標である Tei-index を用いて評価し、更に経鼻的持続陽圧呼吸療法での左心機能改善効果を検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3、解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、OSAS 患者は左室機能が障害されているが、経鼻的持続陽圧呼吸療法により改善することを明らかにし、今後の睡眠時無呼吸症候群における左心機能研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は循環器学研究に貢献するところ大であり。審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			